

【選手・チーム及び関係者全般用】

(一財) 沖縄県バスケットボール協会
3X3 委員会
U18 日本選手権西日本エリア大会
沖縄県予選大会実行委員会

新型コロナウイルス感染症に係る大会実施ガイドライン

1, はじめに

本ガイドラインは、大会開催において感染拡大のリスクを極力排除する環境構築を基本方針とすることで、選手・チーム関係者・審判・運営スタッフ及びそれらの家族の健康・安全を優先とし、政府や上位団体のガイドラインに基づき作成したものです。

2, 大会開催について

大会開催にあたっては、下記が確認できた場合に開催します。ただし大会期間中に県内にて感染リスクが高まる可能性があるとは判断した場合は、大会を中止致します。

- (1) 大会前後の健康観察確認
- (2) 開催期間・時間（同一空間での滞在時間対策）
- (3) 開催会場（換気の状態等対策）
- (4) 開催規模（参加人数等の対策）

3, 参加チームにおける感染防止対策について

- (1) 各チーム選手・スタッフ及び関係者の体温及び下記の健康観察を行います。
 - * 平熱を超える発熱がない（概ね 37.5℃以上）
 - * 咳・喉の痛み・倦怠感等風邪症状がない
 - * 味覚・臭覚の異常がない
 - * 同居家族や身近な知人に感染の疑われる人がいない
 - * 過去 2 週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等の渡航又は当該者との濃厚接触がない
- (2) マスクの着用について
 - * 来場者は原則としてマスクを着用します。但し試合前の練習及び試合に出場する選手及び審判はマスクを外します。（審判員は審判用マスク及び笛マスクを着用します）
 - * チーム関係者及び TO、運営スタッフは試合中もマスクを着用します
 - * 熱中症対策の為、マスク着用時も水分補給を細目に行います
 - * ゴミの廃棄に関しましては、各チーム・運営スタッフで回収します
- (3) 手洗い・消毒について
 - * こまめな手洗い・消毒液による手指消毒を行います
 - * ベンチの消毒もチームの入替時にこまめに行います

(4) 行動記録について

大会参加者は、控え場所での待機中もマスクの着用徹底・ソーシャルディスタンス確保の徹底等感染対策を講じ、感染者発生発覚の際の濃厚接触特定の為、可能な限り行動記録を把握するよう努めます。会場入場後に発熱症状や体調不良者が出た場合速やかに帰宅させ大会本部へ報告します。

4、会場施設及び大会運営での感染防止対策について

- * 体育館入場は1チーム選手4名、スタッフ2名
- * ベンチ入りは選手のみ
- * 大会実行委員会役員・審判員
- * 観戦については、無観客とします
- * 換気については、常時窓を開けて換気を行います
- * 試合終了時には選手は速やかに退場し、ベンチの消毒を行う

5、審判員について

- * 大会2週間前より体調管理、記録を行い大会当日会場入り時に、健康チェックシートの提出をします

6、大会終了後について

- * 大会終了後も、チームの選手・スタッフ及び大会役員やその家族が新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに濃厚接触者の有無等について県協会へ報告します。

7、本ガイドラインについて

- * 政府の方針や上位団体の示すガイドラインに変更があった場合や本協会が必要と判断した場合は、状況に応じて見直し改定を行うものとします。

JBA バスケットボール事業・活動実施ガイドライン（手引き）参照